




令和2年1月27日

学位論文審査並びに最終試験結果報告書

大学院歯学研究科長

殿

主査 村田 勝 
副査 奥村 孝 
副査 谷村 明彦 

今般 Dr. Shajedul Islam にかかわる学位論文審査並びに最終試験を行い下記の結果を得たので報告する。

記

1 学位論文題目

Involvement of *sirtuin 1 (SIRT1)* in betel quid chewing related oral cancer

- 2 論文要旨 別添
- 3 学位論文審査の要旨 別添（様式第12号）
- 4 最終試験の要旨 別添（様式第13号）

以上の結果 Dr. Shajedul Islam は博士（歯学）の学位を授与する資格のあるものと判定する。

学位論文審査の要旨

主査 村田 勝
副査 奥村 一彦
副査 谷村 明彦



氏 名 Shajedul Islam

学位論文題目

Involvement of *sirtuin 1 (SIRT1)* in betel quid chewing related oral cancer

Dr. Shajedul Islam found the hypermethylation of *SIRT1* was significantly higher in OSCC from betel quid chewing patients than in that from non-betel quid chewing patients. This study used human tissue sample, therefore, the scientific value level is higher than that of animal samples.

His thesis demonstrated that *SIRT1* was involved in the oral cancer caused by betel quid chewing, and that the hypermethylation of *SIRT1* in the oral mucosa could be a predictive marker for detecting early events of multistage carcinogenesis.

本論文の一部は、インパクトファクターの高いジャーナルにすでに受理公表されている。

Dr.Shajedul Islamは、北海道医療大学 博士（歯学）の学位を授与する資格があると判定する。

最終試験（学力の確認）の要旨

主査 村田 勝
副査 奥村 孝
副査 谷村 朋彦



氏 名 Shajedul Islam

Shajedul Islam 院生は、討論会で主査副査からの質問に的確に答え、助言に迅速に対応して学位論文を校正することができた。

Shajedul Islam 院生はbetel quid主成分アレコリンに関する研究能力と知識が十分あり、将来母国 Bangladeshのみならず南アジアでのbetel quid chewingに關与する口腔扁平上皮癌の予防活動や口腔領域の公衆医学衛生活動に大いに貢献されることが期待できる。